

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 上郡町スポーツセンター Cコート

試合区分: No. 201 成年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 吉田 利治

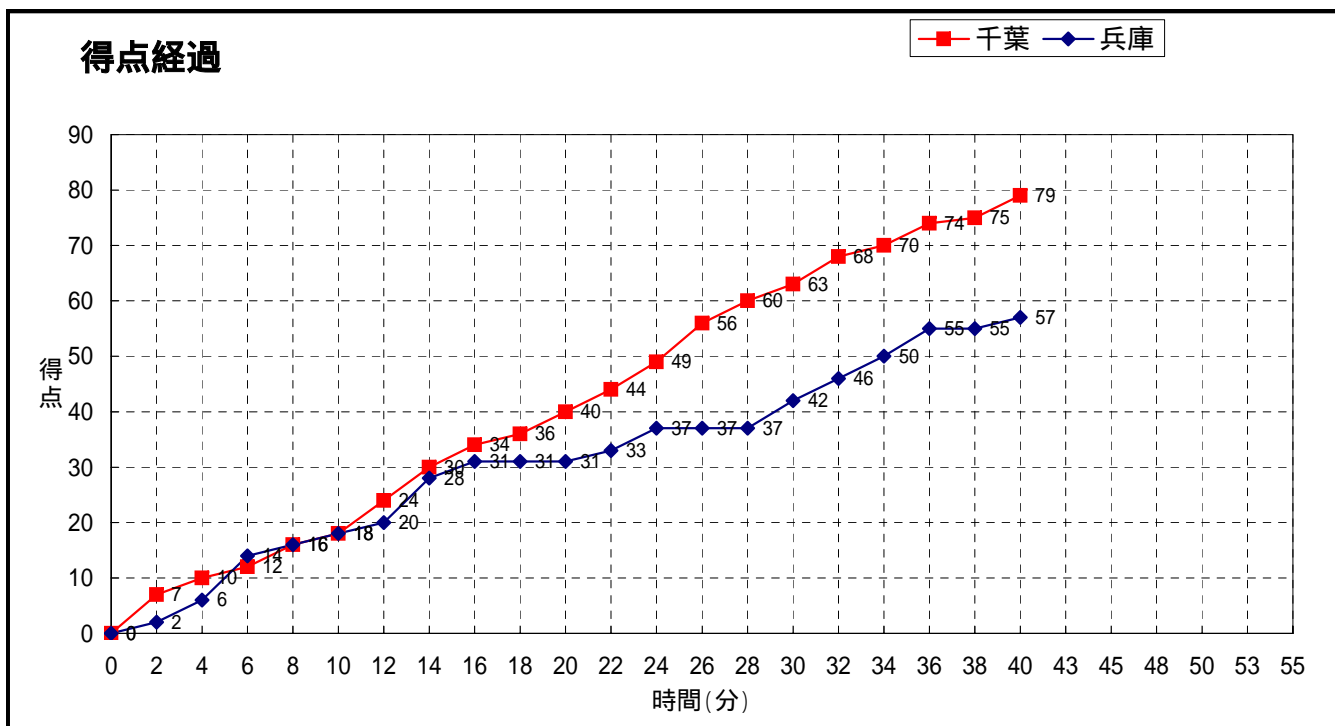
開始時間: 10:00

副審: 関 康寿

終了時間: 11:30

千葉						兵庫									
79						57									
18 -st1- 18						22 -2nd- 13									
23 -3rd- 11						16 -4th- 15									
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		建部 弘美	1	0	0	1	4	4	*	畑岸 邦枝	5	1	1	0	2
5	*	高橋 志奈	0	0	0	0	1	5	*	高村 聡子	10	2	1	2	3
6		吉田 尚子	0	0	0	0	0	6		別當 和香	0	0	0	0	0
7	*	川畑 光代	7	1	2	0	1	7		野口 亜紀	3	1	0	0	1
8		桑原 美和	16	2	4	2	2	8		大津 美鈴	8	0	2	4	0
9		金谷 亜紀子	2	0	1	0	3	9		濱崎 美樹	6	0	3	0	2
10		三木 清香	2	0	1	0	0	10		谷口 加津	6	0	2	2	1
11	*	野村 由希	4	0	2	0	3	11	*	山本 裕子	2	0	1	0	1
12	*	阿形 美由紀	11	1	2	4	2	12		塩森 優	10	0	4	2	2
13	*	鈴木 麻友美	13	1	5	0	1	13	*	天津 満保	2	0	0	2	1
14		伊藤 奈月	7	1	2	0	1	14		平岡 由紀	0	0	0	0	1
15		高橋 香澄	16	0	5	6	1	15	*	江口 真紀	5	0	1	3	4
コーチ		横山 廣美						コーチ		岸 秀華					
		合計	79	6	24	13	19			合計	57	4	15	15	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チーム共に闘志溢れるハーフマンツーディフェンスでスタートした。兵庫#13天津がファールをもらい確実にフリースローを決め先制した。負けじと千葉#13鈴木、#14伊藤が3Pシュートを決めるが、兵庫も#5高村、#4畑岸と連続して3Pシュートを決め、お互い一歩も譲らない。兵庫#9濱崎が速攻でシュートを決めると、千葉#15高橋も対抗するように速攻を決め、第1ピリオドは18-18と両チーム共に主導権を奪い合った。

第2ピリオド、千葉#8桑原の連続3Pシュートが決まり、千葉に流れが傾きかけたが、兵庫#8大津のファイト満々たるプレーでファールを誘いフリースロー、速攻共にポイントを重ね、相手に流れを渡そうとしなかった。しかし、千葉も粘り強いディフェンスから#11野村、#15高橋が連続して速攻でのゴールを決めてゆき、40-31で兵庫に9点差をつけて前半が終了した。

第3ピリオド、千葉はオールコートディフェンスでスタートした。何としてでも追いつきたい兵庫だが、打ったシュートはなかなか得点につながらず、流れに乗っている千葉との点差が縮まらない。千葉の#12阿形の安定したボール運びと、#8桑原、#15高橋の速攻が次々と決まり、完全に千葉が主導権を握った。しかし、粘り強いディフェンスで兵庫は諦めない。兵庫#7野口の速攻からの3Pシュートが決まり元気を取り戻した兵庫だったが、終始千葉のペースが続き、63-42と21点差がついた。

第4ピリオド、絶対に追いつきたい兵庫は、#7野口のスティールからの速攻で#12塩森が得点し、#5高村の1対1、3Pシュート連続ゴールで兵庫の流れとなった。しかし、粘りを見せた兵庫だったが、千葉の安定したパスとドリブルワークのために、第3ピリオドまでについてしまった点差を縮めることができないまま79-57で試合が終了し、地元兵庫は初戦敗退となった。

担当者: 村上 歩(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会